

プログラム 9月13日(土)

8:55~9:00 開会の辞

会頭:大磯 直毅(近畿大学奈良病院皮膚科)

9:00~9:40 学会シンポジウム【日本白斑学会の社会への貢献】

座長:片山 一郎(大阪公立大学大学院医学研究科色素異常症治療開発共同研究部門)

ASY-1 尋常性白斑診療ガイドライン第2版の社会的意義
大磯 直毅(近畿大学奈良病院皮膚科)

ASY-2 日本白斑学会の目指してきた役割
片山 一郎(大阪公立大学大学院医学研究科色素異常症治療開発共同研究部門)

ASY-3 日本白斑学会のこれからの役割
鈴木 民夫(大森駅前皮膚科)

9:50~10:40 モーニングセミナー 1

座長:岡村 賢(山形大学医学部皮膚科)
川上 民裕(川上皮膚科クリニック)

MS1-1 山形県における乾癬治療を考える
齊藤 亨(山形大学医学部皮膚科)

MS1-2 これまでの色素異常症と尋常性白斑研究を振り返って
○鈴木 民夫^{1,2}, 岡村 賢¹, 齊藤 亨¹, 阿部 優子¹
(¹山形大学医学部皮膚科, ²大森駅前皮膚科)

共催:サンファーマ株式会社

10:50~11:20 共催シンポジウム【最新白斑論文レビュー 2025】

座長:井上 紳太郎(岐阜薬科大学化粧品健康学研究室)

SSY-1 最新白斑論文レビュー 2025(基礎編)
井上 紳太郎(岐阜薬科大学化粧品健康学研究室)

SSY-2 最新白斑論文のレビュー 2025(臨床編)
種村 篤(大阪大学医学部皮膚科学教室)

共催:花王株式会社

11:20~12:00 一般演題 1

座長:横井 一範 (大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学)
廣保 翔 (大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学)

- 1 太陽からの近赤外線による肌の光老化を防御する生地の開発
○宮川 朋之, 堀井 理史, 仁枝 信男
瀧定名古屋株式会社
- 2 尋常性白斑とともに暮らすなかでの工夫: 当事者へのインタビューに基づく定性的な記述
○井上 絵里加¹, ○倉田 速音², 井庭 崇²
¹慶應義塾大学SFC研究所, ²慶應義塾大学総合政策学部
- 3 機械学習を用いた尋常性白斑における治療効果を予測する因子の検討
乃村 俊史
筑波大学医学医療系皮膚科
- 4 分子標的薬時代における白斑治療を考える: 文献的考察と今後の展望
○片山 一郎, 楊 伶俐
大阪公立大学色素異常症治療開発共同研究部門

12:10~13:00 ランチョンセミナー 1

【メラノサイト含有自家培養表皮ジャスミン™を用いた白斑治療】

座長:鳥山 和宏 (名古屋市立大学医学部形成外科学)

- LS1-1 最新の白斑外科治療とジャスミン™の立ち位置
種村 篤 (大阪大学医学部皮膚科学教室)
- LS1-2 ジャスミン™の適応を考える
阿部 名美子 (東京医科大学皮膚科)

共催:株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

13:10~14:40 特別講演

座長:大磯 直毅 (近畿大学奈良病院皮膚科)
鶴田 大輔 (大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学)

- SL-1 小胞体環境の恒常性維持とストレス応答~白斑研究への新たな視点~
潮田 亮 (京都産業大学生命科学部/京都産業大学タンパク質動態研究所)
- SL-2 ケモカインを標的とした皮膚疾患治療薬開発の可能性
中山 隆志 (近畿大学薬学部)

14:50~15:40 アフタヌーンセミナー 1 【遺伝学的アプローチから見る白斑と乾癬】

座長:森田 明理 (名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学分野)

- AS1-1 エピジェネティックな病態記憶がもたらす乾癬の慢性炎症と治療戦略
柴田 彩 (東京大学大学院医学系研究科皮膚科)

AS1-2 白斑の genetics と epigenetics
岡村 賢(山形大学医学部皮膚科学講座)

共催: マルホ株式会社 メディカルアフェアーズ部

15:50~16:50 一般演題 2

座長: 猪爪 隆史(千葉大学大学院医学研究院皮膚科学)
下村 裕(山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座)

- 5 選択的表皮損傷の長期経過と色素細胞の動態
○夏賀 健, 稲村 衣美, 平野 瑤子, 渡邊 美佳, 氏家 英之
北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- 6 遺伝性色素異常症の病態解明に向けた研究
下村 裕
山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座
- 7 色素沈着を伴う EBS-MP における小胞体とミトコンドリアについての検討
○指川 未歩, 小宮根 真弓
自治医科大学皮膚科
- 8 進行期メラノーマ患者に生じる白斑に浸潤する T リンパ球の解析
青山 和弘¹, 川島 秀介¹, 佐伯 優佳¹, 斎藤 宜子¹, 及川 綾子¹, 川瀬 勝隆²,
盛永 敬郎³, 松澤 高光¹, 河津 正人³, 富樫 庸介⁴, 花澤 豊行², 伊藤 克弘⁵,
谷口 智憲⁵, ○猪爪 隆史¹
¹千葉大学大学院医学研究院皮膚科学,
²千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学,
³千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部,
⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学,
⁵京都大学大学院医学研究科がん免疫総合研究センター免疫ゲノム医学講座
- 9 尋常性白斑におけるグランザイム B の機能解析
Siwei Diao¹, David Granville^{2,3,4}, 鶴田 大輔¹, ○廣保 翔¹
¹大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学, ²International Collaboration On Repair Discoveries (ICORD) Centre, Vancouver Coastal Health Research Institute (VCHRI), Vancouver, BC, Canada, ³Department of Pathology and Laboratory Medicine, University of British Columbia (UBC), Vancouver, BC, Canada, ⁴BC Professional Firefighters' Burn and Wound Healing Research Laboratory, VCHRI, Vancouver, BC, Canada
- 10 ケラチノサイトの GPNMB 発現低下は TXNIP と DKK1 の産生調節を介して酸化ストレス感受性を高める
大津 麻里子, 水谷 有紀子, ○井上 紳太郎
岐阜薬科大学化粧品健康学研究室

座長：室田 浩之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学）
小宮根 真弓（自治医科大学皮膚科）

- 11 日本における白斑の現状：JMDC 保険者レセプトデータベースを用いた記述研究
○種村 篤¹，馬 躍²，弘 新太郎³，廣瀬 智弘²，鈴木 民夫^{4,5}
¹大阪大学医学部皮膚科学教室，
²ファイザー株式会社スペシャルティケアメディカルアフェアーズ，
³ファイザーR&D合同会社統計リサーチ・データサイエンス，
⁴山形大学医学部皮膚科学講座，⁵大森駅前皮膚科
- 12 メラノサイト含有自家培養表皮（ジャスミン）の保険適用後の症例報告
○鳥山 和宏¹，奥田 佳世子²，加藤 裕史²，山本 礼²，櫻井 麻衣²，榎本 由季²，
中村 亮太¹，田中 朋代³，井家 益和³，森田 明理²
¹名古屋市立大学形成外科，²名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科，
³株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（J-TEC）
- 13 尋常性白斑モデルマウスでは紫外線発癌が抑制される
○新井 陽介，岡村 賢，川口 純之介，穂積 豊，鈴木 民夫
山形大学皮膚科
- 14 白斑を対象としたウパダシチニブの第Ⅱ相臨床試験におけるベースラインサブグループ解析の結果
○鈴木 陽子¹，Khaled Ezzedine²，Iltefat Hamzavi³，Amit G Pandya^{4,5}，
Nanja van Geel⁶，Bethanee J Schlosser⁷，Anna Shmigel⁷，Xiaoqiang Wu⁷，
Xiaofei Hu⁷，Heidi Camp⁸，Thierry Passeron⁹，鈴木 民夫¹⁰
¹アッヴィ合同会社，²Henri-Mondor University Hospital, Créteil, France，
³Henry Ford Hospital, Detroit, United States，⁴Palo Alto Foundation Medical Group, Sunnyvale, United States，
⁵University of Texas Southwestern Medical School, Dallas, United States，
⁶Ghent University Hospital, Ghent, Belgium，
⁷AbbVie Inc, North Chicago, United States，
⁸Centre Hospitalier Universitaire de Nice, France，
⁹INSERM U1065, Nice, France，
¹⁰山形大学医学部皮膚科学講座
- 15 長崎大学海洋微生物抽出物ライブラリーを用いたメラニン合成制御に関わる新規化合物の探索と創薬への応用
○室田 浩之¹，下窄 和茅²，谷村 進²，山本 結衣²，馬場 大輝²，芦田 美輪¹，
武田 弘資²
¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学，
²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科細胞制御学

プログラム 9月14日(日)

9:00~9:50 モーニングセミナー 2【アトピー性皮膚炎全身療法の Up to date】

座長: 鶴田 大輔 (大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学)

片山 一朗 (大阪公立大学大学院医学研究科色素異常症治療開発共同研究部門)

MS2-1 アトピー性皮膚炎におけるオルミエントのポジショニング

大塚 篤司 (近畿大学医学部皮膚科学教室)

MS2-2 IL-13 阻害で拓くアトピー性皮膚炎治療の新時代—レプリキズマブの皮疹改善と瘙痒制御及び長期安全性—

杉浦 一充 (藤田医科大学医学部皮膚科学)

共催: 日本イーライリリー株式会社

10:00~11:00 ポーラ化成研究助成研究発表

座長: 鈴木 民夫 (山形大学医学部皮膚科学講座/大森駅前皮膚科)

1 白斑内のメラノサイト抗原特異的 T 細胞を選択的に抑制するための新規治療標的の探索

○青山 和弘¹, 川島 秀介¹, 佐伯 優佳¹, 斉藤 宜子¹, 及川 綾子¹, 川瀬 勝隆^{2,3}, 盛永 敬郎³, 松澤 高光¹, 河津 正人³, 富樫 庸介⁴, 花澤 豊行², 伊藤 克弘⁵, 谷口 智憲⁵, 猪爪 隆史¹

(¹千葉大学大学院医学研究院皮膚科学,

²千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学,

³千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部,

⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域腫瘍微小環境学,

⁵京都大学大学院医学研究科がん免疫総合研究センター免疫ゲノム医学講座)

2 白斑における表皮 resident memory CD8⁺ T 細胞のプロファイリング

○木下 真直¹, 佐藤 卓哉¹, 小川 陽一¹, 片山 一朗², 島田 眞路¹, 川村 龍吉¹

(¹山梨大学皮膚科, ²大阪公立大学)

3 毛包組織における GPNMB 発現の検討

○松尾 真帆^{1,2}, 臧 小宇¹, 田中 加蓉子¹, 井上 紳太郎³, 岩田 浩明¹

(¹岐阜大学大学院医学系研究科皮膚科, ²西濃厚生病院皮膚科,

³岐阜薬科大学化粧品健康学講座)

共催: ポーラ化成工業株式会社

11:10~12:00 一般演題 4

座長: 堺 則康 (東京医科大学皮膚科)

岩田 浩明 (岐阜大学皮膚科)

16 手における白斑病変分布の解析とその特徴—続報—

○横井 一範, 種村 篤, 草尾 佳苗, 王 静, 川島 晴菜, 直原 成美, 中川 誠太郎, 石塚 洋典, 藤本 学

大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学

- 17 尋常性白斑に対する PDE4 阻害剤の治療効果
Xiuli Yang¹, ○川上 聡経², 梶島 健治²
¹Shanghai Jiao Tong University School of Medicine,
²京都大学大学院医学研究科皮膚科学
- 18 白斑とアトピー性皮膚炎～臨床症状と治療～
須藤 一^{1,2}
¹医療法人社団須藤皮膚科医院, ²順天堂大学医学部アトピー疾患研究センター
- 19 Frontal Fibrosing Alopecia と共局在した尋常性白斑の 1 例
○入間田 萌花, 高橋 岳浩, 金城 賢吾, 関根 真奈, 天貝 諒, 八丁目 直和,
浅野 善英
東北大学皮膚科
- 20 2 領域に分節型病変部が生じた分節型尋常性白斑
○木戸 千晴, 渡辺 圭子, 大原 裕士郎, 岡田 真央, 大磯 直毅
近畿大学奈良病院皮膚科

12:10～13:00 ランチョンセミナー 2

座長:大磯 直毅 (近畿大学奈良病院皮膚科)

- LS2 自然免疫の異常と皮膚炎症: 白斑と乾癬におけるインフラマソームの役割
新熊 悟(奈良県立医科大学皮膚科)

共催:アムジェン株式会社

13:10～14:00 アフタヌーンセミナー 2

座長:下村 裕 (山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座)

- AS2-1 これからの時代の蕁麻疹診療
千貫 祐子(島根大学医学部皮膚科)
- AS2-2 未来を考えた小児のアトピー性皮膚炎治療
馬場 直子(神奈川県立こども医療センター皮膚科)

共催:サノフィ株式会社

14:00～14:05 閉会の辞

会頭:大磯 直毅 (近畿大学奈良病院皮膚科)